

夢

難病を患いながら、車椅子で富士山登頂を果たした京都府宇治市の中岡亜希さん

ん(33)が30日、元気に下山し、県庁を表敬訪問した。中岡さんはこの登山に「難病や障害を持っていても、どんどんチャレンジできる世の中になってほしい」とメッセージを託した」と語り、日焼けした顔をほころばせた。

中岡さんはNPO理事で8年前、手足

の先から筋力を徐々に失っていき難病「遠位型ミオパチー」にかかった。車椅子を自力で動かせないため、総勢24人の支えで登頂の夢を実現させた。

中岡さんは28日午前、富士宮口5合目から登山を開始。アウトドア用の軽量車椅子に乗り、支援者の後押しを受けて登った。9合目

大村副知事(左)に富士山初登頂を報告する中岡さん―県庁で



「厳しさも味わった」

も再び山頂に登ったが、かなわなかった

で1泊してから29日未明、風雨が吹きつける中を出发。同日早朝、山頂に達した。中岡さんは8月7日、富士山に初めて登る予定の川勝平太知事にあてて9合目の山小屋に手作りの贈り物を置いてきたと明かし、「楽しんできてほしい」とエールを送った。

中岡さんは大村慎一副知事に登頂を伝え、「9合目からは本当につらい2時間で、富士山の厳しさも味わった」と振り返った。山頂での「ご来光」を29日は悪天候で見られず、30日早朝

【平林由梨】

難病女性富士山初登頂

京都の中岡亜希さん、県庁訪問